

ア ジ ア 養 蜂 研 究 協 会



第2回 AAA 大会セカンドサーキュラー

第2回アジア養蜂研究協会大会が1994年7月26日～29日にインドネシアのジョクジャカルタで開催される。

大会ではアジア地域の在来ミツバチ類と導入されたセイヨウミツバチ、それにアジア各地の地域に根ざした持続可能な養蜂の発展に関する多くの問題が話し合われる。また期間中に養蜂場の視察、展示会、インドネシア文化の紹介、数々の集会、観光プログラムも予定されている。古都ジョクジャカルタはインドネシアを代表する観光地のひとつでもあり、大会参加者には必ず満足いただけるだろう。

インドネシアではトウヨウミツバチを用いた伝統養蜂がジャワ島、バリ島で古くから行われている。また、ストラマ島、カリマンタン島、スラウェシ島、ヌサトゥンガラ諸島の熱帯雨林内とその周辺ではオオミツバチのハニーハンティングが見られる。

みなさんの来訪を心から歓迎申し上げます。

テーマ: 人々の生活向上と持続可能な発展のためのミツバチと養蜂

目的: -ミツバチと養蜂に関する知識の深化
-ミツバチと養蜂に有用な情報交換と経験交流
-養蜂関係者の横のつながりの強化
-今後の活動の指針

開催地: インドネシア・ジョクジャカルタ市内ガジャマダ大学会議場にて

日時: 1994年7月26日(火)～29日(金)

公用語: 英語。

論文提出先: 町田市玉川学園6-1-1 玉川大学
ミツバチ科学研究施設内アジア養蜂研究協会
論文発表は口頭とポスター掲示の2種類があり、詳細は協会にお問い合わせ下さい。

会議日程:

25日登録

26日午前 開会式、基調講演

午後 カントリーレポート

アジアのミツバチの生物学と行動学

夜 ミツバチの病害

27日午前 セイヨウミツバチの養蜂

午後 養蜂振興

夜 ビデオ、スライド

28日午前 AAA 総会

29日午前 ミツバチ生産物

午後 関連施設見学

夜 閉会式パーティー

展示会: ミツバチ生産物、参考書籍、養蜂関連機器などの展示ブースを用意する。3m四方のブースは陳列だな、机、椅子2脚、220Vの電源付き。賃貸料はUS\$500。

登録方法: 登録料は1994年5月31日までUS\$125、同伴者US\$100、6月1日以降はUS\$150、同伴者US\$125。キャンセルはFAXか郵便で書面により申し込む。5月末日まではキャンセル料US\$50、それ以後は返金しない。登録料は要旨集、会議と見学会、閉会式パーティーへの参加、展示会への入場等を含む。

交通: ジョクジャカルタへは首都ジャカルタから大型ジェット機が毎日6便(所要時間45分)運行されている。汽車、バスは所要11時間。バリ島デンパサールからのフライトもある。空港から市内へはタクシーで約US\$3、支払はインドネシア通貨がよい。

入国審査、税関: 入国にはパスポート、出国用航空券等が必要。インドネシア大使館で確認していただきたいtel. 03-3441-4201。

宿泊施設: 高級ホテルの料金は4星クラスで

US\$45-62.5, 3星クラスはUS\$42-52程度である。その他にも会場から2kmの範囲内に手ごろな値段のホテルがある(エアコン付きUS\$17.-42.)。7月は観光シーズンなので早めの予約が必要。

通貨など: インドネシアルピー (Rp) の交換レートはUS\$1が約Rp2,000。主要な外国通貨は空港、銀行、ホテルで両替できる(パスポート呈示)。銀行の営業時間は月曜から土曜の午前8時~午後3時。アメックス、ビザ、ダイナース、マスターカードも使える。紙幣は100, 500, 1,000, 10,000, 20,000Rp, 硬貨は50, 100, 500Rpがある。

気候と服装: 熱帯性の気候で、7月は乾季で気温は23°~30°C, 湿度60~80%で日中は暑い、夜は涼しい。

堅苦しい服装は必要ないが、ランニングに短パンなどは失礼とされる。大会の会議場は空調設備も整っているので、特に開会式など来賓参席の時は服装を整えるようお願いしたい。

食事: 市内にレストランも多く、日本人の口にあうものが多い。午前9時~午後10時が営業

時間。生水を避け、煮沸した水かミネラルウォーターを飲むこと。

買い物: 商店は午前9時~午後2時と午後5時~9時に営業。パティック、銀細工、皮革細工等有名。

電圧: 220V, 50Hz. プラグの形は通常二股の丸ピンだが、ホテルによっては独自のものもある。

問い合わせ: Organising Committee, The Second Asian Apicultural Association Conference. Directorate Afforestation & Social Forestry, Ministry of Forestry, Manggala Wanabakti Build. 13f

JL. Gatot Subroto Senayan, Jakarta 10270 Indonesia.

tel. 62-21-573-0182 fax. 62-21-573-7092

※セカンドサーキュラー(英文)の請求、展示会出展希望、その他のお問い合わせはアジア養蜂研究協会へ。tel. 0427-39-8685 fax. 0427-39-8854.

※大会出席ツアーがあります。詳細は(株)アサヒトラベルインターナショナル(担当 田中)まで。〒101千代田区神田駿河台2-8 瀬川ビル6F tel. 03-3291-4041 fax. 03-3233-2471.

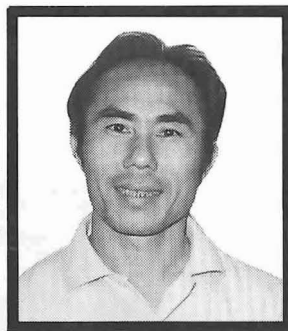
Tran Duc Ha 氏を偲んで

アジア養蜂研究協会の養蜂経済セクション長で、ベトナム支部長でもあられた Tran Duc Ha 氏が1994年1月5日に逝去された。享年47歳。

Ha 氏は国立ミツバチセンター設立に尽力され、1984年の開設以来初代所長としてベトナムの養蜂を導びいてこられた。ベトナムのミツバチの多様性と特徴ある伝統養蜂技術に注目し、その振興に力を注がれた。また、多くの困難を乗り越えて、ミツバチ研究センターと、諸外国のミツバチ関係組織との関係を強化してこられた。国内においては、トウヨウミツバチによる養蜂の講習会、振興事業を各地で行われた。

外国との交流のために英語が必要と考えた氏は熱意を持って英語修得に取り組み、短時間の内にその流暢な語学力を手に入れた。彼との英語によるコミュニケーションがどんなに多くの

外国のミツバチ関係者を助け、同時に Ha 氏自身と他のベトナム研究者の世界への窓を広げたかは計り知れない。



アジア養蜂研究協会には設立時から参加、常に積極的に活動、寄稿を続けてこられた。昨年9月の北京のアピモンディア大会では、ベトナムのトウヨウミツバチ養蜂を紹介するビデオ作品で銅賞を授賞された。

Ha 氏は世界各地の、ミツバチを通じて得た多くの友に対し、これまでの交誼を感謝するとともに、皆さんの健闘と成功を祈っていると、言葉を残された。

Vincent Mulder